

平成 18 年度 9 月補正予算の概要

1 総括

現在の社会経済情勢を踏まえ、厳しい財政環境の下、県政の着実な発展を図るため、緊急かつ不可欠な事業に限定して補正予算を編成した。

2 補正予算の規模

一般会計	2 億 1 , 6 2 5 万 8 千円
(補正後累計	1 兆 6 , 8 3 3 億 6 , 8 2 5 万 8 千円)
特別会計 (本多静六博士育英事業ほか 3 会計)	5 億 8 , 1 8 3 万 2 千円
企業会計 (地域整備事業)	4 億 4 , 6 6 8 万 5 千円

3 主な内容 (特に記載のないものは一般会計の内容)

新	障害者自立支援法に基づくサービス体系への円滑な移行支援	2 , 5 5 0 万円
	県民の安心・安全確保対策	
	・ 県立学校体育館の耐震診断の前倒し実施	6 , 8 8 1 万 4 千円
	・ 新設道路における交通安全施設の整備	7 , 2 4 4 万 5 千円
新	さいたま新都心 8 街区の土地鑑定評価	3 6 9 万 6 千円
	奨学金制度の拡充	
	・ 高校生等向け《高等学校等奨学金事業》	2 , 1 3 3 万 2 千円
		債務負担行為の設定
	・ 大学生等向け《本多静六博士育英事業》	1 , 0 5 0 万円
新	競輪の開催業務の包括民間委託《公営競技事業》	債務負担行為の設定

4 財 源 (一般会計)

・ 国庫支出金	2億2,680万円
・ 分担金及び負担金	6,933万8千円
・ 財産収入	40万円
・ 諸収入	4,166万円
・ 県 債	2,700万円
・ 繰越金	4,373万6千円